

「国道403号中央橋の早期架け替えを」

改修整備促進期成同盟会が関係機関に要望書

飯山市・木島平村・野沢温泉村で構成する中央橋（国道403号）改修整備促進期成同盟会（会長・石田飯山市長）は7月2日、東京の国土交通省をはじめ関係機関を訪問。完成から50年以上が経過したことによる老朽化や交通障害を来している、国道403号中



△冬柴大臣（右から2人目）に直接要望書を手渡す

央橋の早期架け替えを強く要望しました。
この日の要望活動に参加したのは石田市長、河野野沢温泉村長、戸梶木島平村副村長と、戸田飯山建設事務所長などの一行。国土交通省関東地方整備局（さいたま市）、国土交通省、財務省を訪問しました。
このうち、国土交通省では冬柴国土交通大臣、宮田道路局長、また財務省では宮下政務官、杉本主計局長と面会。積雪や幅員が狭いことなどによる交通障害が発生している中央橋の現状について説明し、大臣などに直接、早期架け替えの必要性を強く訴えました。
中央橋が架かる国道403号は、野沢温泉村・

中央橋架け替えに向けた最近の動き

県の求めに応じ組織された、地元住民・関係団体などによる「中央橋架け替えに伴う計画協議会」では、現橋位置の上流へ新しい橋を架け替えることや早期着工・早期完成することなどを柱とした提言書を今年1月に県へ提出。管理する県ではこれら地元住民の要望を取り入れた具体的な架け替え計画の立案を目指している。

建設予定地で位置などを確認
第二回 人形館建設委員会を開催
市報の前月号で人形館建設に向け5月28日に建設委員会が発足したことをお知らせしましたが、引き続き、6月26日に第二回の建設委員会が開催されました。
まず、建設位置に決定した愛宕町の「雪と寺の町公園」で、全体の面積や位置・方向・導入口と土蔵の状態等現況の確認が行われ、その後、市役所で会議が開催されました。

第二回 人形館建設委員会を開催

会議では、事務局から人形館建設の基本構想の素案について説明があり、委員からは施設の建坪や機能のほか、管理者やまちづくり・回遊性の問題など、さまざまな意見が出されました。また、建設地周辺区関係者を委員に追加委嘱させていただくことなどが決定されました。
これらの議論を踏まえ、次回は、施設概要図面と運



△人形館建設予定地での視察の様子

営方法等について検討が行われる予定です。
お問い合わせ
教育委員会事務局管理学習課（飯山市公民館内）
☎3342

まちづくりに市民の声を反映
新幹線を核とした「まちづくり」会議
市では、平成26年度に予定される新幹線飯山駅開業を踏まえ、新幹線を核としたまちづくり計画について

て検討をしています。その計画づくりに市民の声を反映させるため、6月2日より「新幹線を核とした『まちづくり』会議」が発足しました。



△6月27日には2回目の会議を開催

これは、飯山市総合計画、後期基本計画を基本とした「まちづくり」に、諸計画（ウェルカムプラン・景観基本計画・中心市街地活性化基本計画・新幹線デザイン会議報告等）を踏まえつつ「新幹線飯山駅開業」とい

うインパクトを生かした経済活性化を主体とした飯山市全体のまちづくりについて、若年層を中心に市民の意見を集約するものです。
9月までに、計6回程度の会議を開催する予定です。会議の様子は、市のホームページによりご紹介します。
なお会議では、市民の皆さんからのご意見もあわせて検討したいと思っています。自由活発なご意見をお寄せください。
お問い合わせ
商工課商工振興係
☎3111 内線211

市長の

悠久のふるさとづくり ②

飯山市長 石田正人



昨年の飯山市基本構想審議会の答申で、「人口の増加」が飯山市の最も取り組むべき課題と提言がありました。町の賑わいは人の出で決まると言われます。しかし近年、市内の中心市街地は空き店舗が目立ち、夜には人通りも少なく電気だけが明るさを保っている、この現象は飯山だけではなく、全国で見られる状況です。

人が集まれば、経済の活性化につながります。飯山市では定住人口増加のため、宅地付き2000万円住宅をはじめ住宅補助のさまざまな施策を行っています。最近では市内各所で住宅建設が始まっており、この中には須坂市や中野市、また岳北の他地域から転入される方も見られます。

また交流人口の増加も経済活性化に大切なものです。飯山市では観光協会を中心に、冬期観光だけでなく夏期観光にも力を入れる取り組みが始まっています。今年は、春の菜の花まつりにおいて、市民の皆さんとの協働で渡し舟を二十余年ぶりに運航し、市内外の皆さんから大変喜ばれ賑わいました。

寺町の雁木、仏壇通り、城山も他の地域には無い素晴らしいものです。これらを活かし、更に新しい魅力を加えることで、善光寺、小布施の観光に来た方に「飯山へも行ってみよう」と思っていただけのような場所に、交流人口を増加させることが大きな課題です。そのために飯山市では、ふるさとの原風景と一体となる人形館を整備することといたしました。現在、作家・企業の方より協力をいただながら建設に向け施設の内容や運営方法の検討を進めています。この人形館は、きっと新しい回遊性のあるまちづくりの一端を担ってくれるものと確信しています。